

## 当院の TAVI 対象患者の客観的な frailty の評価と予後予測についての検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

### 研究の目的と方法

経皮的動脈弁留置術(TAVI)の対象となる患者さんは手術リスクの高い高齢の症例に限られていましたが、その有用性が認められるにつれてより若年、手術リスクの低い方にも適応が拡大してきています。TAVIの手技リスクとしてSTS scoreなどが用いられていますが開胸手術の際に用いるスコアでありTAVI症例の複雑な併存疾患や背景の評価、また高齢者に特有の虚弱性(Frailty)の評価が含まれていないなど様々な問題があります。また近年、frailtyの評価も用いられはじめていますが、客観性や不偏性に欠けているのが現状です。

本研究ではより客観性のあるfrailtyの評価を行い、点数を層別化し、最終的な予後との関連を調査することによりその有用性を検討することを目的としております。基本的には診療記録より情報収集し調査を行いますが、電話等を用いて現在の状況をお尋ねする場合もございます。研究のために新たな検査や受診をお願いすることはありません。

### 研究の対象となる方

2013年12月18日～2020年4月20日に当院でTAVIを受けられた方

### 使用する試料・情報

年齢、性別、心エコー、採血データ等

### 研究予定期間

研究実施許可日～2023年4月20日

### 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 鈴木 寛人

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

### 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

#### 問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 鈴木寛人

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)